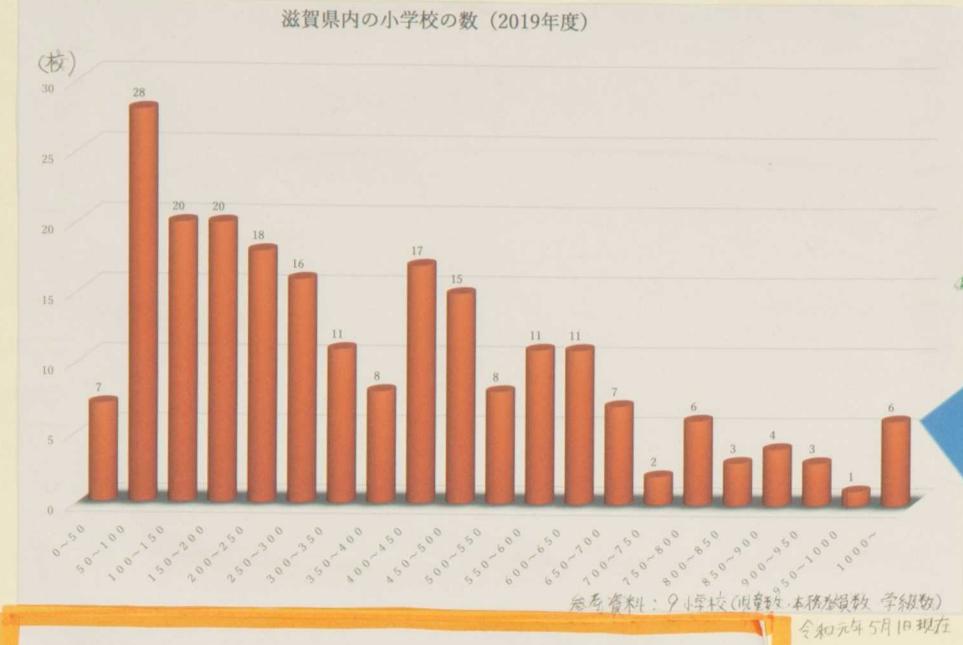


滋賀県のいろんな小学校 大調査



1校あたりの平均は
368.5人

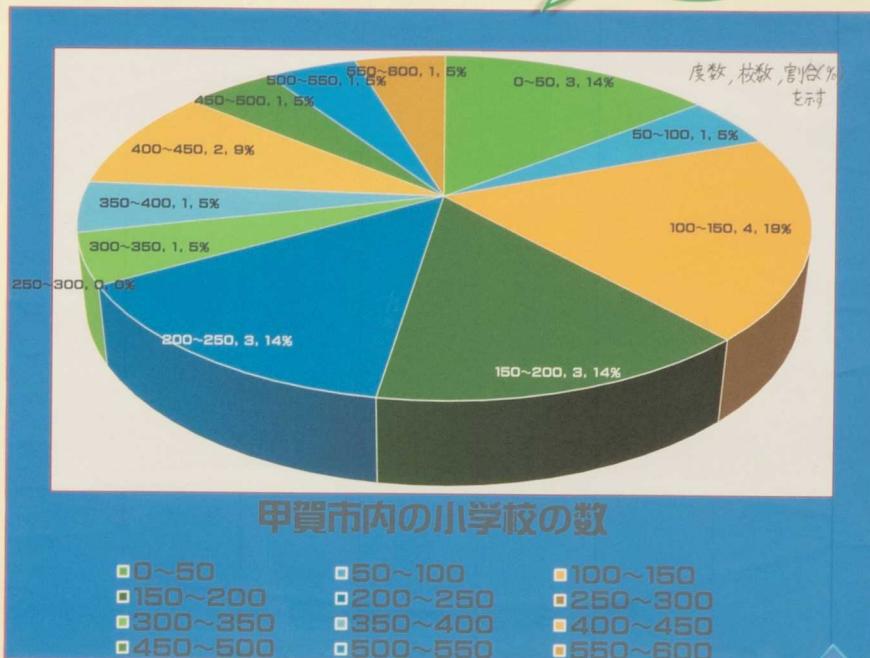
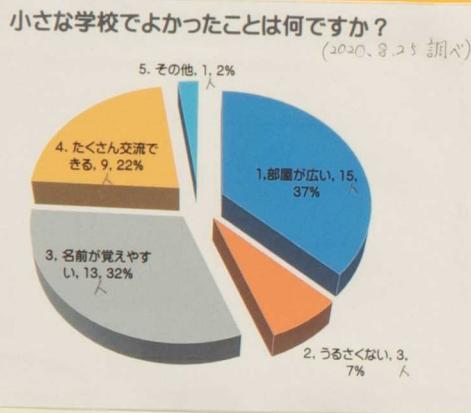
調査理由

私たちの学校は、全校児童44人の学校です。学校間の交流会や、校外学習、フローティングスクールでほかの学校の人と会って、人数の多さにおどろきました。そこで、滋賀県内の小学校の児童数について調査して、小さい学校が県内にいくつあるのか調べることにしました。そして、自分たちの学校の人たちにインタビューして、小さい学校の良さと困っていることについても調べてみたいと思いました。

1校あたりの平均は
231.7人

気づいたこと

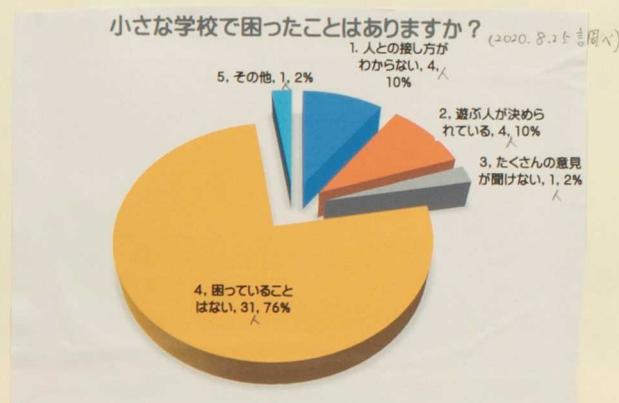
- ・50人未満の学校はもう少し少ないと思っていたけれど、7校もあった。
- ・1000人以上の学校がこんなにたくさんあるとは予想していなかった。



- 参考資料 9小学校（児童数・本務教員数・学級数）
令和元年5月1日現在

気づいたこと

- ・児童数100~150人の学校が一番多かった。(県の結果と差があった。)
- ・甲賀市内には全校児童600人以上の学校がなかった。
- ・50人未満の学校が市内だけで3校もあった。(甲南第三・多羅尾・朝宮)



気づいたこと

- ・アンケートをしてみて、自分たちが1位になると予想していたものと、結果がちがつておどろいた。
- ・小さい学校で生活していることで、もっと困っていることがあるのかと思っていたけれど、みんなあまり困っていないとわかった。

調査を終えて…

卒業生の数を調べることで、自分が住んでいる宮地区も人口が減ってきてていることがわかりました。それでも、「人が少なくてさみしい」と思うのではなく、人数が少ないとそこ、いいところを見つけていくことが大切だと思いました。
中学生になったら、クラスの人数も増えるけれど、多い人数なりのいいところを見つけて生活ていきたいと思います。



気づいたこと

- ・今年度の卒業生の数と比べて、卒業生が一番多い年(1960年)は約6倍の子どもがいた。
- ・2005年度から、卒業生の数は急激に減っている。
- ・宮地区の人口が減っているのかなと思った。